

令和5年度愛媛県産業教育振興会総会 教育長祝辞

令和5年7月4日（火）
にぎたつ会館

令和5年度愛媛県産業教育振興会総会が、盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

御出席の皆様方には、日頃から、本県の産業教育の振興に格別の御理解、御支援を賜っており、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。お陰をもちまして、県立高校を卒業した生徒の就職状況は、近年、非常に高い水準で推移していることに加え、県内企業への就職率についても、令和元年度から4年連続で80%を超える高水準を維持しています。これもひとえに、皆様方の温かいお力添えの賜物であり、重ねて御礼申し上げます。

さて、本県では今年3月に、今後4年間の本県の教育行政の根幹となる「愛媛県教育振興に関する大綱」を策定しました。その中で、「教育立県えひめの実現」という目標を打ち出しました。これは、教育の振興を通して、優れた人格と能力を兼ね備えた有為な人材を輩出することはもとより、その教育力の高さをもって、若者が住み続けたいと思う愛媛づくりや、全国の人や企業から評価され選ばれるような「教育で身を立てる県」となることを目指したもので、これからの本県教育の基本方針としたところです。

では、そのために何をすべきかということですが、その答えの一つとして、「未来を切り拓くたくましい子どもたちの育成」を振興方針の一つに掲げました。ポイントとなるのは「たくましさ」です。

今の世の中は、人口減少で地方は衰退し、デジタル化の進展でSNSや電子マネーが使えないと生きづらくなり、チャットGPTというすごい人工知能も登場しました。世界ではロシアが突然ウクライナに侵攻し、自動車は電気の時代だとなり・・・私たち大人ですら全く先の読めない時代です。

今の子供たちは、こんな混迷の時代を生き抜いていかねばなりません。だからこそ、不測の事態にも動じることなく、自らの発想と力で課題を乗り越えられる「たくましい子供たち」を育てること、これが今の教育に関わる私たちに求められる責務だと考えています。

このため、県教委では、様々な体験活動や、小学校から高校までの12年間を通じたキャリア教育などを推進するとともに、今年度から新たに、全ての県立高校と中等教育学校において、地元産業界等と連携しながら、課題解決に向けた研究活動や地域の魅力発信などを行う「ソーシャルチャレンジ for High School事業」を開始しております。

また、同じく今年3月、これから高校に進学する子どもたちの将来を第一に考え、魅

力的で質の高い教育環境を提供することを主眼に、「県立学校振興計画」の策定を完了しました。

振興計画では、「職業・学科の横断的学習の展開」を計画目標の柱の一つに掲げ、複数の職業学科と普通科系統を併せ持つ学校をたくさん設置することとしております。

そしてそこでは、専攻する学科の勉強だけでなく、多くの分野に触れることで、広い視野と知識を兼ね備えた産業人材の育成を図りたいと考えております。

ただ、これらの施策は、学校だけで成し遂げることは到底かないません。

今後とも、地域や産業界との連携を一層深めながら、地域産業を担う人材の育成に努めて参りたいと考えておりますので、皆様方には、引き続き、御支援、御協力を賜わりますようお願い申し上げます。

終わりに、愛媛県産業教育振興会のますますの御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。